

つなぐ

神奈川県立相模原養護学校

〒252-0336 神奈川県相模原市南区当麻814

Tel 042-778-0331 FAX 042-778-4957

web <http://www.sagamihara-sh.pen-kanagawa.ed.jp>

小学部6年 待ちに待った修学旅行へ！～ディズニー、羽田空港～

小学部6年生は10月11日（火）から12日（水）の1泊2日で修学旅行へ行ってきました。行き先はディズニーシーと羽田空港！電車やバスなどの公共交通機関を乗り継いでの移動です。ディズニーシー・羽田空港とも初めて行くという児童が多く事前学習をじっくり行いました。パワーポイントで日時や行き先、行程の学習から始めました。なかでも、ディズニーシーの乗り物の紹介では、どの児童も画面をじっと食い入るように見つめたり、音楽に合わせて体を揺らしたり、楽しみにしている様子が見られました。ミッキーを使った図工の作品作りにもみんな意欲的です。相模線や相鉄線での切符の購入の仕方も模型を使って教室で練習しました。初めての場所で食事を取れるかが6年生にとって一番不安な点。調理実習をして作り方を知ると食べられるようになる児童が多く、みんなが共通して興味を持っていたカレー作りも何度も行いました。

みんなの期待が高まってきたところで、当日を迎えました。ディズニーの洋服を着て楽しみにしている児童、保護者の方と離れると不安そうにする児童、様々でしたがみんなで元気に出発！原麻駅、海老名駅までは校外学習で何回か行ったことがあり慣れた様子です。横浜駅では、たくさんの人の中で崎陽軒のポスターや露店に気を取られながらも、みんなでまとまって歩くことができました。横浜駅からは高速バスでディズニーシーへ。ディズニーシーに到着するとみんな周囲の様子に興味津々！表情が穏やかになり足どりも一気に軽くなりました。夢の国のパワーを感じた瞬間です。ディズニーシーの中では、昼食をとった後、乗り物に乗ったり、ショーを見たり、パレードを見て一緒に踊ったり・・・とにかくたくさん体を動かして楽しみました。夕食をとったあとハロウィンのイルミネーションの世界を楽しんでから、バスでホテルへ。電車やバスでの移動、ディズニーシーでの待ち時間など、いつもとは違う環境のなかでもマナーよく過ごすことができました。ホテルではそれぞれリラックスして過ごし、2日目は羽田空港へ。バスは、補助席を使う程の満員状態でしたが、外の景色を楽しみながら落ち着いて過ごすことができ、みんなの成長を感じました。空港では飛行機の迫力に圧倒されつつ、ラウンジでゆっくり過ごしました。6年生のみんなにとってはハラハラ・ドキドキの1泊2日、小学部6年間の素敵な思い出になることを願っています。



中学部3年修学旅行～千葉・横浜～

借り上げバスに乗って移動しました。1日目は、海ほたるで休憩し、鴨川シーワールドに到着です。まずはレストランでランチバイキング。たくさんの種類の中から自分の好きな物を食べました。

お腹いっぱいになり、外にいるセイウチやトドなどを見たり、館内の魚を見たりしながら、いよいよシャチパフォーマンスの見学です。悠々と泳ぎ始めたかと思うと豪快に水しぶきを上げて、水がバシャーとかかかっていました。イルカパフォーマンスでは、華麗なジャンプを見ました。バスに乗ってホテルに着きました。部屋の窓からは海がよく見えました。入浴をし、夕食の懐石料理を食べ、就寝まで友だちと一緒に部屋の中でくつろぎました。

2日目の見学は、マザー牧場です。バター作り体験は楽しく体験しました。乳搾り体験は、大きな乳牛の横にしゃがんで搾ることができました。昼食はジנגスカンです。肉と野菜をたっぷり食べて、大満足でした。「日本初の牧場アトラクション」とPRされたマザーファームツアーでは、トラクタートレインに乗って、放牧された羊やアルパカなどたくさんの動物を見ることができました。おみやげは、自分で選んだり、教員と相談したりして、それぞれお気に入りの物を買いました。

3日目は東京湾フェリーに乗って横浜中華街へ移動しました。曇り空でしたが、海風を体いっぱい受けて、広い海を眺めました。港からバスで移動して中華街に到着すると、ちょうど昼食の時間です。円卓に運ばれてくるごちそうを、くるくる回しながら分け合って食べました。この後は、賑やかな中華街の中を歩いておみやげを買いました。2泊3日の修学旅行は、楽しい思い出として残りました。



高等部3年 修学旅行 ～大阪～

高等部3年生36人は、9月25日(日)～27日(火)の日程で大阪へ修学旅行へ行ってきました。全国各地で台風の影響による不順な天候が伝えられましたが、私たちは残暑の中、無事3日間の行程を終えることができました。

行程は、1日目、海遊館(クラス別)。2日目、ユニバーサルスタジオジャパン(USJ)(グループ別)。3日目、道頓堀・通天閣近辺(クラス別)を訪れ、宿泊は道頓堀川畔の大和屋本店。移動は東海道新幹線のひかりで小田原～新大阪、あとは主に貸し切りバスでした。

新幹線では一般乗客もいる中で立ち歩きも少なく、声の大きさなども考えて楽しく乗車できました。楽しみにしていた行きの駅弁もおいしくいただきました。海遊館は休日ということもあり、かなりの混雑でしたが、ジンベエザメやマンボウのゆったり泳ぐ姿にしばし見とれていました。宿では「あつうま」の明石焼きに舌鼓を打ち、友達とたっぷりお話しすることができました。

USJに到着した時の雨風は、ゲートに着く頃にはすっかり上がって夏の日差しでした。事前のアンケートで4つのグループに分かれ、アトラクションやショー、昼食、買い物と一日たっぷり楽しみました。

最終日は宿を出発する時間も見学する方面もクラスごとに別々でした。事前に相談した計画に沿って道頓堀通りや通天閣、心斎橋筋などを巡り、大阪の文化と歴史の一端に触れることができました。移動は地下鉄を使い、乗車・降車、車内でのマナーについて体験し、学習できました。

盛りだくさんの修学旅行でしたが、心に残る大きな思い出を作ることができました。1学期の半ばから時間をかけて行ったたくさんの事前学習の成果が発揮できた旅行でもありました。



中学部体育集会

長い夏休みが終わり、残暑の厳しい9月16日。中学部の体育集会を行いました。昨年度は運動会の代わりとして開催しましたが、今年度はこれまでの体育や体力づくりの練習の成果を発表する学部集会として開催しました。日々の授業の成果を発揮できるように、普段の体力づくりと同じように体育館で実施し、見通しを持たせて最後までやりきることができました。

当日は介護等体験の学生の方にも入っていただき、年の近いお兄さん、お姉さんの手本を見て、一緒に活動しました。ランニングは体力づくりでは必ず行っており、音楽の切れ目で反対方向に回る流れを理解し、音楽が止まったら立ち止まり反対方向へ向き直る姿が見られました。それぞれの目標としている周回数を達成するために頑張りました。

サーキット(障害物競走)は9月から練習を始めた新しい活動でしたが、これまで経験したことのある動きを組み合わせたものだったため、自分の番が来ると主体的に活動に参加することができました。玉入れは縦割りのチームで意欲的に参加することができました。最後は用意していた玉がすべてかごに入り、他学年の生徒との協力プレーの成果を見せてくれました。



橋本高校文化祭～樺翔祭～

私たち橋本分教室は、9月10日、11日に行われた橋本高校の樺翔祭に参加しました。8月の親子レクでのクレープ作り方練習から準備をはじめ、2学期に入ってから、準備期間の少ない中、ポスター作りや看板作りなど、全学年で協力して準備を進めてきました。今年度は、レジで売り上げをバーコードで管理するシステムを導入しました。お客様からの反響も多く、より正確に売り上げ管理ができるようになりました。当日は、たくさんのお客様にご来店いただき、クレープとコーヒーがとてもおいしいというお褒めの言葉もたくさんいただきました。また、樺賞祭大賞・食品部門で、2年連続で最優秀賞を授賞することができました。分教室の伝統としてのクレープ屋ですが、橋本高校でも愛され、樺賞祭の伝統としても定着しています。これからも、安くて早くて美味しいクレープ作りを心がけ、より良いお店作りをしていけるよう、工夫していきたいと思ひます。



芸術の秋、到来！

運動の秋、食欲の秋、読書の秋・・・等々、実り多きこの秋に、相模原養護学校の芸術の秋が爆発しました。今年度は10月の「ほかほかふれあいフェスタ」を皮切りに、「さがみ風っ子展」「光明学園文化祭」「麻溝地区文化展」と、様々な場で本校および分教室の児童生徒の作品を展示することができました。

作品展は、『造形作品の発表を通して、本校児童生徒の様子を地域の皆様にご覧いただく機会とする』ことを目的としております。作品をご覧になった方々に、本校および分教室の日頃の取り組みの一端を知っていただくと共に、児童生徒の可能性を感じ取っていただけたら幸いです。



放課後部活動

相模原養護学校の高等部では、放課後運動部という名称で週3回部活動を行っています。また、月1回橋本分教室の生徒との合同練習日を設けています。相模原養護学校の部活動の特徴は、1つの部に所属するのではなく、バスケットボール、サッカー、ソフトバレーボール、ティーボール（夏休みや大会前のみ）の5つの活動の予定を月ごとにお知らせして、希望する競技を選択して練習に参加できるところです。

現在、36名の生徒が所属しそれぞれ練習に励んでいます。また、神奈川県特別支援学校体育連盟（特体連）に所属し、競技ごとに年間2回から3回開催される大会にも参加しています。楽しむことを目的にしつつも、日頃の練習の成果が発揮できる機会があることは大切なことだと考えています。11月5日（土）に開催されたティーボール大会には、15名の生徒が参加し、ブロック優勝することができました。生徒はみんな喜び、充実した表情を見せていました。しかし、勝つことばかりではなく、負けることもあります。そのような時、生徒は落ち込み悔しそうな表情になりますが、その後の練習ではさらに一生懸命取り組んでくれます。

部活動は、スポーツを楽しむ事とともに、単に技能を高めて勝つことだけではなく、仲間と協力することの大切さや、ルールを守ること、相手を尊敬することなど、今後、社会生活を送るにあたって求められる力を養うことができる活動だと考えています。



小校外学習

小学部1年生～3年生が校外学習で麻溝公園に行ってきました。今回の校外学習では、「動物との触れ合い」「ルールを守って公共施設を利用する」「集団を意識して校外での活動に参加する」などをねらいに、ポニーやモルモットとの触れ合い、アスレチックや展望台を楽しんできました。校外学習へ行って毎回感じるものが「経験の大切さ」です。

その一つに、ポニー乗馬があります。ご存知の方も多いかと思いますが、麻溝公園には『ふれあい動物広場』という場所があり、羊、牛、ブタなど身近な動物やリスザル、ミーアキャットなどちょっと珍しい動物を観ることができるエリアとポニーやモルモット、ヤギなどと触れ合えるエリアがあります。校外学習で行った時には、ほぼ毎回利用しており今回も利用しました。乗馬場の柵に沿って待つときは1年生～3年生まで並び、ドキドキワクワクしながらも落ち着いて自分の番を待つことができました。そして、いざ乗馬。最初は緊張した顔で背中に乗っていてもすぐに慣れ、どの子もキラキラした目をしていました。ポニーに乗りながら見る景色はいつもとは一味違ったようです。場内を一周して戻ってくるには、どこか誇らしげな顔をしているように見えました。優しく小さいポニーといっても、低学年の子どもたちにとっては自分の体の何倍も大きいので、中には怖がってしまう子もいます。今年は乗ることができなくても、落ち込むことはありません。ポニー乗馬も回数を重ねるごとに乗ることができる子が多いです！先輩たちは、この経験を活かして乗れるようになっていきました。乗れなかった子も今度は乗れるように頑張りましょうね。

次に成長した姿を見せてくれたのは、子ども広場で遊んだ時です。空いている一瞬の時間を狙ってGO！ヨーイ、スタート！の掛け声でみんなが一目散に向かったのがアスレチックでした。階段から昇る子やはしごで登る子、色々な所から上がった先にはお目当ての滑り台。そこで子どもたちが偉かったのは、「順番を守って並んでいたこと」です。一学期から、散歩の授業で近くの公園へ行き、みんなで滑り台をしていました。そこで、繰り返し友だちの後ろに並んで待つ練習を積んできました。春頃は、楽しすぎて順番待ちの列に横から入ろうとしてしまう子もいましたが、今では友だちの後ろに並んで待てるようになってきており、成長を感じていたのですが、普段とは違う場所、違う学校の友だちがいる中でできたことは、本当に素晴らしいことでした。

今回の校外学習では、他にも公園散策をしたり、お弁当を食べたりしました。高学年になれば、バスや電車に乗ってでかけたり、レストランで食事をしたりもします。これからも、色々なことに積極的にチャレンジして経験を増やしていきましょう。経験しただけ、できることが増えていきます。みんなの成長が楽しみです。

緊急下校訓練へのご協力、 ありがとうございました

平成28年9月8日（木）に緊急下校訓練を実施しました。当日は、台風が接近した悪天候の中でしたが、ご協力いただき本当にありがとうございました。

全校一斉での引き渡しでしたが、おおむねスムーズに引き渡しことができました。体育館では、高等部の生徒と教員と一緒に簡易テントを作ることも体験しました。手際よく、ブルーシートやスランテーブルを使って作りました。

また、アンケートに回答していただきまして、ありがとうございました。アンケート結果の中に、災害時には事業所には引き渡すことがないにもかかわらず、訓練ということで事業所への引き渡しがあることに疑問を感じるのご意見を複数頂きました。

学校としても、この件に関しましては、来年度は、緊急時カードに記載されている保護者、代理人のみの引き渡し訓練を検討しています。その際は、4月時点でご連絡させていただきますので、どうぞご協力よろしく願います。



相模原養護学校「学校へ行こう週間」

10月14日（金）に保護者セミナー、10月17日（月）～10月20日（木）まで、授業公開を実施しました。ここでは保護者セミナーの報告をします。

毎年保護者セミナーでは進路や卒業後に関連した話題での講演を企画してきています。今年度は、『卒業後を見据えて、成年後見を学ぶ。～親なき後のことについて～』をテーマとして、コスモス成年後見センターの方に講演いただき、対話形式で後見制度についての説明を聞きました。

参加者からのアンケートでは、「法定後見と任意後見の2種類があることがわかった」「先のことと思ってきたけれど、今から準備できることを知った」「今回のことをきっかけに子どもに合った制度等を知ったり、考えたりするきっかけになった」「成人してからも支援が受けられること、法に守られていることが分かり安心できた」等々の意見が寄せられました。

その一方で、「内容が難しかった」「これからもっと勉強していかなければと思った」、等の意見もありました。今後、内容の充実したセミナーを企画できるように検討していきます。パンフレットと資料が欲しい方は相談担当までお声かけください。